

# 受かったら何とでも言える

17期理X 早川健太

## 1.まえがき

タイトルの通りです。今だから言えますが、私は合格発表を見るまで自分は落ちると思っていた(後述しますが、必死になって勉強をしていたわけでもないし、模試の結果や直前期にやった過去問の点数からもそう思っていました)。「これくらいで東大に受かる人もいるんだー、運いなー」ぐらいの気持ちで読んでください。以下、表は上から下に向かって時系列順に並んでいます。

## 2.模試の結果(判定は東京大学理科Ⅰ類、【】内は偏差値)

### (i) 東大模試

	英語	数学	国語	物理	化学	合計	判定
東進6月	72 【54.5】	15 【49.7】	25 【50.7】	14 【46.8】	19 【49.8】	145 【50.4】	E
河合8月	47 【50.1】	29 【45.7】	36 【55.5】	10 【44.4】	26 【57.0】	148 【49.8】	D
駿台8月	63 【57.3】	32 【45.4】	36 【53.0】	20 【49.3】	30 【59.1】	181 【52.5】	D
東進8月	68 【55.7】	16 【47.6】	30 【57.2】	28 【58.5】	19 【55.0】	161 【54.7】	C
河合11月	62 【58.2】	55 【52.7】	47 【60.7】	18 【44.9】	25 【54.6】	207 【55.8】	B
駿台11月	54 【49.1】	13 【43.2】	27 【53.3】	18 【46.7】	24 【52.6】	136 【47.3】	E

判定にご注目ください。模試の結果があてにならないことがよくわかります。

東進の数学は完全に本番レベルを逸脱しているので、気にしなくていいです。ただし、英語と理科は駿台・河合よりも本試に近いような気がします。また、解答用紙の再現度は東進の圧勝です。インクの色から紙質、切り取り部分までほぼ完璧に再現されました。(※私は東進の回し者ではありません)

### (ii) マーク模試

	英語(筆記)	数ⅠA	数ⅡB	国語	物理	化学	地理B	合計	判定
東進センター本番レベル4月	185	63	66	173	55	42	57	636	D
進研模試総合学力マーク6月	172	91	95	174	65	87	73	759	D
駿台ベネッセマーク9月	185	93	94	181	79	80	65	777	C
2019年センター試験(本番)	192	92	97	174	85	95	82	817	C

東進の数学は完全に本番レベルを逸脱しているので、気にしなくていいです(2回目)。また、マーク模試で東大の良い判定を取るには異様に高い点数を求められるので、判定は気にせず、ゲーム感

覚で目標点数を超えることを目指していました。地理は12月までほとんど勉強していなかったので、60点程度を目指していました。

### (iii)記述模試

	英語	数学	国語	物理	化学	合計	判定
河合全統記述5月	159 【70.9】	159 【65.5】	112 【68.4】	73 【65.0】	57 【60.1】	560 【67.1】	D
河合全統記述10月	171 【75.5】	108 【59.5】	108 【65.3】	66 【62.6】	54 【65.8】	507 【65.7】	D

特に対策はしませんでした。ただ、5月に比べて10月は大幅に難しくなっていて、数学や化学が全く解けず、試験中に焦った記憶があります。まあ周りも同じような感じだったので、勉強方法を変えることはありませんでした。

### 3.受験校と合否結果

- ・東京大学 理科類 ◎
- ・慶應義塾大学 理工学部 学問3 ○
- ・早稲田大学 先進理工学部 応用化学科 ○
- ・東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 ○(乾坤の真理奨学金(特待生)に採用される)

### 4.各時期の過ごし方 (〈〉内は1日の平均自習時間 ※勉強時間が長ければいいというわけではありませんが、分かりやすい指標として採用しています)

(1~4年生) 〈平日:0時間 休日:1時間〉

中学入試で合格最低点+12点というギリギリの点数で第一志望の開智先端Aに合格したので、周りは全員自分より優秀なのだろうと思って入学しました。そのため、舐められないように1年の4月に、小学生の時から興味のあった化学の話(原子の構造とか化学反応とか)を下校の時にしていたら、友達にドン引きされました。さらに、プレテストでは学年4位の成績を取り、周りは意外と自分と変わらないんだということに気づきました。

勉強はテスト前1週間くらいしかやったことはありませんでした。ただし、いつも先生の話にツッコミを入れて笑いを取ろうと考えていたので、授業は真面目に聞いていました。開智の先生は授業自体がとても面白く、授業中に寝たことは一度もありませんでした。また、定期テストの成績が毎回学年トップ10だと、授業料だけでなくFWの費用やお小遣いまで学校から支給されるというSS特待生なるものがあるという噂を検証するために、4年生までのテストでは(保健と家庭科に本気を出すことで)全てトップ10を取りました(しかし、学校からSS特待の通知が来ることはませんでした)。

(5年生) 〈平日:1時間 休日:1時間〉

初めの頃は、イギリスFWの実行委員長として様々な準備に追われていました。しかし、テロの影響でFWが中止となり、代わりに11月にオーストラリアFWを実施することとなりました。これによって、FWの準備と開発の企画(教室企画の宝探し/有志企画のリアル脱出ゲーム/有志のウクレレバンド)の準備、さらには引退の迫った卓球部の活動などに追われることとなり、開発後には引き続きFWの準備と自ら立ち上げた開智高校謎解き制作集団《K-Index》の活動、それらに加えて

放課後の特別講座が始まるなど、息つく暇もない生活を送っていました。今振り返ると、この時期が最も忙しく、最も高校生活を謳歌していたなあと思います。3学期に入ると、一通りの活動には区切りがつき、受験勉強に専念し始める……わけもなく、謎解きとウクレレ三昧の生活を送っていました(シス単テストとか、掃除後の5分間でどれだけ短期記憶できるかのテストでしょ、くらいにしか思っていませんでした)。

### (春休み) <5時間>

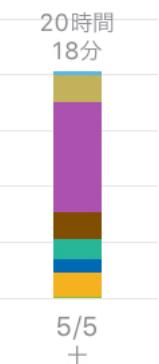
入試まで残り一年を切り、少しずつ受験を意識した勉強、例えば、今まで疎かにしていたシス単を覚えたり、1対1対応の演習の例題やNext Stageを解き進めたりしました。また、Studyplusという勉強時間記録アプリで勉強を管理し始めました。このアプリについては後で詳しく紹介します。

### (6年生1学期) <平日:1時間 休日:7時間>

勉強合宿では春休みの延長として、1対1、シス単、ネクステに加えて、今やらなかったらセンタ一直前まで絶対にやらないだろうと考えて地理のウィニコンを1周しました。これはゲーム感覚で解き進められ、勉強合宿の息抜きには最適だったのですが、結局2学期の地理の授業でもう一度解く羽目になり、その頃にはほとんど忘れていたので、あまり意味はありませんでした。また、受験体験記に「夜の0:00まで勉強をした」と書きたいがために夜の0:00まで勉強していました。

勉強合宿でシス単を覚え切ったので鉄壁に移行し、朝の通学時間中に読むようになりました。1学期中は自分の思っていた以上に、理Xの数学の予習や課題プリント、復習などに追われて自由な時間がなく、学校の授業と特講以外のこととはほとんど何もできませんでした。理科の勉強はほとんどしていませんでした。また、5月からは「東進 東大特進コース」に通い始めました(これについても、詳しくは後述します)。

あと、GW中には「1日限界どれくらい勉強できるんだろう」という疑問を検証するために、食事以外ずっと勉強するチャレンジをやりました。結果20時間強が限界でした(次の日の勉強時間は約3時間となってしまいました)。最後の方は意識が朦朧とした状態で勉強していて、ここから学んだことは「徹夜ってよくないね」ということでした。



### (夏休み) <8時間>

学校の夏期講習がある期間は、1学期中とあまり変わらない生活をしていました。1対1が例題しか解いていないにも関わらず数IIBまでしか終わらず、このままでは先へ進まないということでスタンダード演習を解き始めましたが、半分も解けないといった感じでした。理科の自習はほとんどやっていませんでした。当然、即応、実戦の判定は両方ともD。しかし、予想通りであったため特に気にすることはありませんでした。

### (6年生2学期) <平日:3時間 休日:8時間>

化学の範囲が全て終わり、授業で毎回重問のテストをすることになったので、自習時間に重問を解くようになりました。A問題だけとはいえそここの量があり、ペースも早いので、スタジオ重問の予習以外のことをする余裕はありませんでした(重問テストの復習すらしていませんでした)。また、7月あたりから理Xの数学を解くことは諦め始め、2学期に入ると完全に問題を解くことを放棄していました。なので、数学の授業では黒板に書かれた友達の答案を見て「へー、



## ▲集中力低下の原因

こんな解き方ができるのか」という感じで眺めるだけになっていました。

この時期は中だるみするとよく言われますが、私も例に漏れず、勉強に対するやる気が失われていきました。そこで、モチベーションを上げるために、音楽を聴きながら勉強をし始めたのですが、これが大失敗でした。確かに音楽(主にバンドリ!の曲)を聞くことでテンションがあがり、勉強も捲っているようと思えたのですが、東大秋模試当日、いざ問題を解こうとすると、頭の中ですっと曲が流れ続け、問題に集中できない状態になってしまいました。その結果、東大実戦ではなんとE判定。このときはさすがに落ち込みました。そこで私は「どうすればテストで点数が取れるようになるのか」を考え、様々な先生に相談しました。その中で最も私の心に刺さった言葉は「自分の能力を解答用紙に『正射影』することが大事」というものでした。つまり「これくらいの点数を取りたいな」という願望を捨て、ドライに問題に向き合うことが必要だと感じました。

2学期の期末試験が終わるとセンター、特に地理の勉強しかしていませんでした。今振り返ると、期末試験以降に知識を増やす勉強をする時間はない、つまり入試の得点の最大値は決まってしまいます。あとはどれだけミスをしないで、その最大得点に近づけていくかの戦いになります。

### (冬休み～センター試験) <平日:6時間 休日:9時間>

二次試験の勉強は一切しないで、センターの過去問を解いて、採点、解説を読んで確認するという作業を繰り返しました。センター試験の過去問はゲームをやってるみたいですごく楽しかったです。全ての教科で講習で配られるマーク模試5～10年分と過去問10年分近くを解きました。友達と点数を競い合ったり、点数の自己ベストの更新を目指したりしていました。(国語と英語の学校の冬期講習は取りませんでした。)

### (センター試験後～二次試験) <平日:3時間 休日:8時間>

センター90%という目標を達成でき、余裕を持って二次試験対策にシフトできました。この時期の精神安定のためにも、センター試験の対策は本気でやったほうがいいと思います。私はセンター後に十分時間があると考えていましたが、東大以外の私大の過去問も解かなければならぬため、本当に時間がありませんでした。私大の過去問以外にこの時期にやっていたことは、学校の二次対策講座の演習と数学と物理の復習のみです。しかし、講座で行なった数学の過去問の点数は、平均40点、20点台もざらでした。物理の点数も約30点と振るわず、「このままだと東大はほぼ確実に落ちるな…」と考えた私は、早慶の過去問をそれぞれ3年分解き、万全の態勢で私大入試に臨みました。その結果、受けた大学全てに合格。浪人がなくなったことで、だいぶ安心して東大入試を受けることができました。

東大二次当日は、ただ「正射影」することのみに力を注ぎ、「あっ、物理難しい」と感じたこと以外は特に焦ることもなく、力を出し切ることができました。アドバイスがあるとすれば、休み時間に前の時間の試験のネタバレ(関西弁)に注意すること(自分の答えと関西弁での答えが違うものだと焦ります)と、できれば昼食を友達と一緒に食べたほうがいいよ(気心の知れた仲間と話すと、緊張が和らぐ)ということぐらいです。

## (二次試験後～合格発表) <0秒>

浪人はなかったので、(学年主任の先生に勉強しろと言われていたにも関わらず)一切勉強しませんでした。合否に関して自分にできることは何もなかつたので、とにかく遊んでいました。合格発表2日前くらいから少し緊張し始め、発表当日は何をするにも手が付かないといった感じになりました。そして、運命の12:00、どうせ落ちているんだろうと思いつながらも、発表を見るのが怖くて何もせず、結局確認したのは12:20頃でした。そして、東大のHPを開き、合格者の受験番号一覧を見ていくと…そこには自分の番号が掲載されていました。最初に感じたのは、緊張が解けた事による安堵感。そして「ああ、1年間目指していた大学に受かったんだ」という満足感でした。

## (合格発表後～) <0秒>

学校から出された最後の課題が、この受験体験記でした。合格発表が3月10日、体験記の締め切りが3月18日で「まあ間に合うだろ」と思っていた私は、そのまま何もせずにいたところ、届いたのは東大からの書類の束。そう、東大入試の3次試験「入学手続き」が始まったのでした。そして、書類の準備が一段落ついた3月25日現在、この体験記を書いています。

## 5.教科別の勉強の進め方

### ■英語

#### ・単語

勉強合宿までにシス単を覚えました。ただし、ミニマルフレーズは一つも覚えていません。とりあえず、まずは1単語につき1つの意味を覚えることを優先しました。勉強合宿後は鉄壁に移行しましたが、これは量が膨大なので「覚える」というより「読む」感じでやっていました。この鉄壁読書を通学電車内で行なうことが朝のルーティーンでした。

#### ・文法

勉強合宿でNext Stageを1周しただけです。ネクステは正直つまらなかつたし、全く身につきませんでした。文法は本当に苦手で、東大英語4Aはボーナスステージ程度にしか思っていませんでした。できる人はちゃんとやつたほうがいいです。英作文とかでも前置詞の選択や慣用句などで迷いがなくなります。

#### ・長文/英作文

学校の授業、特講のみです。分からなかつた単語の復習だけをしていました。特講では1年間で東大の過去問、模試を合計40年分解きました。それを右のような表を作って分析したり、グラフを作つて点数の伸びを眺めてニヤニヤしたりしていました。

過去問	日付	1(A)	1(B)	2(A)	2(B)	3(A)	3(B)	3(C)	4(A)	4(B)	5	合計	4回平均	L合計	
2008	1 3月28日	4	8	7	7	8	6	2	2	14	8	66	16		
	2 4月18日	8	4	9	9	10	8	6	3	10	13	80	24		
	3 5月2日	6	2	11	12	6	6	4	0	8	9	64	16		
	4 5月9日	8	6	8	9	4	10	10	2	11	5	73	20.75	24	
2012	5 5月23日	3	4	6	8	8	6	4	6	11	7	63	70	18	
	6 5月30日	8	4	8	16	7	6	8	3	12	9	81	70.25	21	
2015	7 6月6日	5	2	6	8	6	6	6	6	16	12	73	72.5	18	
	8 6月13日	6	4	5	8	10	6	10	6	7	20	82	74.75	26	
2011	9 6月20日	6	2	8	10	4	8	6	6	8	20	78	78.5	18	
	10 6月27日	8	6	8	8	10	8	8	3	9	14	82	78.75	26	
	11 7月4日	8	6	7	8	8	10	6	0	12	7	72	78.5	24	
	12 7月21日	8	10	6	7	10	10	10	4	7	18	90	80.5	30	
	13 7月23日	6	2	11	10	4	8	8	4	9	10	72	79	20	
	14 7月24日	6	4	9	10	6	8	4	2	14	9	72	76.5	18	
	15 7月25日	7	8	11	11	6	6	10	0	11	8	78	78	22	
	16 7月26日	8	6	8	6	6	10	10	3	12	12	81	75.75	26	
2010	17 7月28日	5	6	8	2	8	4	10	4	5	18	70	75.25	22	
2013	18 7月31日	9	4	10	9	8	10	8	0	7	10	75	76	26	
2018	19 8月1日	7	8	6	5	4	6	4	2	15	8	65	72.75	14	
	20 8月5日	10	2	4	3	6	10	4	2	13	10	64	68.5	20	
	21 9月19日	6	8	7	7	6	6	10	2	9	15	76	70	22	
	22 9月26日	8	6	7	6	8	8	10	0	8	20	81	71.5	26	
2014	23 10月3日	4	2	7	6	10	4	10	4	8	14	69	72.5	24	
	24 10月10日	9	8	13	10	4	8	10	4	14	6	86	78	22	
	25 10月17日	10	4	7	8	6	6	6	2	16	20	85	80.25	18	
	26 10月31日	10	8	11	11	8	10	8	1	11	13	91	82.75	26	
	27 11月7日	7	4	8	8	10	6	6	0	13	8	70	83	22	
2017	28 11月14日	4	10	7	8	6	8	10	4	7	10	74	80	24	
	29 11月21日	10	12	7	7	8	8	8	0	9	7	76	77.75	24	
	30 11月28日	10	2	8	16	10	6	10	2	15	13	92	78	26	
	31 12月5日	8	8	10	7	10	10	4	4	9	14	84	81.5	24	
	32 12月12日	10	4	6	7	4	8	4	4	15	7	69	80.25	16	
2009	33 1月24日	7	6	7	6	8	6	4	6	8	28	86	82.75	18	
	34 1月26日	8	6	8	10	6	4	8	3	13	8	74	78.25	18	
	35 1月31日	8	4	8	9	8	8	8	3	13	6	75	78.33	24	
2016	36 2月2日	8	2	6	7	6	12	10	4	14	17	86	80.25	28	
	37 2月7日	8	4	3	7	10	8	8	3	12	20	83	79.5	26	
	38 2月14日	9	2	7	6	6	10	4	0	13	13	70	78.5	20	
	39 2月21日	6	8	6	6	8	8	8	8	12	14	82	78.33	22	
	平均	7.333333333	5.28205128	7.66666667	8.15384615	7.15384615	7.58974359	7.28205128	2.87179487	11.02564103	12.3076923	76.66666667	22.0810811		
	大問相関	0.446754114	0.21898675	0.13996218	0.30751634	0.3031018	0.2696711	0.49016201	0.17323071	-0.052585788	0.51631078	1			
	過去問平均	5.636363636	4.90909091	7.09090909	6.90909091	6.90909091	6.7727273	4	10.27272727	13.8181818	73.1818182		20.5454545		

## ■数学

▼表1

スタジオJB	スタジオIII
1 數式基盤	25
2 葉合・論証	18
3 教科書	17
4 場合の数	19
5 石膏像	19
6 整数式	23
7 座標	19
8 平面ベクトル	14
9 空間ベクトル	20
10 三角形と相似	19
11 図形	29
12 機械積(数式)	15
13 微分積(応用)	20
A B	A B
1 構成粒子	10 非金属元素
2 molと反応式	11 金属元素
3 酸化物・結晶	12 無機物
4 三態・気体	13 脂肪族
5 溶液	14 芳香族
6 化学反応式	15 構造決定
7 反応速度・平衡	16 天然高分子
8 酸・塩基	17 合成高分子
9 酸化還元・電池	18 脱離
方針をどう立てるか	1 整式 5:7 図形問題 6:10 機械積(3) 6 2 nCr 5:5 古文 5:8 機械積(1) 5:11 図形 4 3 整数式 4:6 組合せ 5:9 機械積(2) 5:12 黄色問題 2

春休みから1対1の例題のみを解いていましたが、前述したように数IIIに手をつけないまま夏休みに突入し、スタジオを解き進めました。結局、表1(自分の進捗状況を管理していたもので、丸がついている単元は1回解いたことを表す)のように3分の1ほどの問題にしか着手できず、解けない問題も多かったです。

	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	第6問	合計
2017	2	10	19	13	2	7	53
2015	10	0	4	8	2	0	24
2013	4	18	0	20	8	0	50
2011	20	4	10	10	2	8	54
2010	5	2	4	10	6	0	27
2012	4	10	10	2	0	2	28
2014	6	7	6	0	8	10	37
2018	16	8	8	20	0	5	57
2016	0	2	20	12	0	0	34

## ▲東大数学 過去問

結果、直前期に行なった過去問の点

数は右表のようになり、とても東大に受かるような状況ではありませんでした。(なお、「方針をどう立てるか」は難しそうで挫折しました。)

## ■国語

### ・現代文

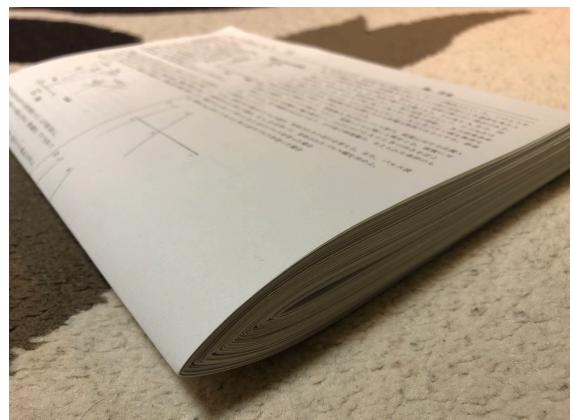
私は本当に現代文が好きで、3年生の頃から勝手にマーク模試の問題などを解いていたので、この科目に対する不安はありませんでした。また、林修先生の授業を受けて、東大現代文という科目に対してある種の美しさすら感じるようになりました。よって、6年の2学期からは自ら現代文を封印し、現代文に逃げないようにしていました。

### ・古文/漢文

学校の授業、特講以外で勉強はしませんでした。古文単語も完璧に覚えたというわけではありません。ただし、古文単語帳の後ろに収録されている慣用句は覚えました。これは結構即戦力になったのでオススメです。1日10分で3日もやれば覚えられるので、ぜひ試してみてください。

## ■物理

特講の物理プリントに追われる日々でした。特講の3時間で終わるプリントは毎回4枚ほど。よって、毎週プリントの借金が溜まっていきました。その数1年間でなんと149枚! これ多分やったプリントの枚数の方が少ない…夏休みにはプリントそっちのけで名問の森に手を出しました。表1を見てもらえばわかると思いますが、電磁気以外の分野をだいたい解きました。答えに至る道筋が丁寧に書かれているので、読んでいて面白かったです。



▲物理プリントの借金 計149枚

す。

2学期には、借金を返さなければと思ってプリントの中でも1度は解いておきたい問題を友達に選んでもらい、「不良債権ガチャ」と称してその中からランダムに選んで解くという遊び?をやっていました。3学期は二次対策講習のプリントを解いていたので、過去問にはあまり触れられませんでした。

## ■化学

1学期中は授業に集中して有機分野を理解し、2学期は授業の重問テストに合わせて予習をするといった感じでした。よって、自分で何か特別なことはやっていません。3学期は二次対策講習で行う東大模試の演習に加えて、自習時間に東大の過去問を解きました。右表のように過去問の点数は悪くなかったので、化学に関してはあまり心配はしていませんでした。

	第1問	第2問	第3問	合計
2016	13	11	12	36
2015	9	14	9	32
2014	15	14	6	35
2013	12	17	12	41
2012	10	16	13	39
2011	8	14	18	40
2017	18	14	15	47
2018	19	16	11	46

## ▲東大化学 過去問

## ■地理

体育と並んで、この1年間のオアシスでした。雑学的な知識を色々知ることができ、テストもゲーム感覚でとても楽しかったです。具体的な勉強方法は、授業を真面目に聞いて、2学期期末試験後に過去問を解きまくっただけです。慣れれば点数は安定しました。

パックV1	78	2015追試	74	2017本試	84
2015本試	69	2014本試	88	2017追試	85
2013本試	75	2016本試	86	2012追試	80
2014追試	86	パックV5	67	2018本試	74
パックV2	77	パックV4	79	2018追試	79
パックV3	79	2016追試	86		

## ▲地理センター

### 6.全体を振り返って

私はこの1年間、数学と物理に苦しめられました。5年生までに数学の基本的な解法はきちんと頭に入れておくともっと楽だったと思います。

また、この一年間も必死に勉強していたとは言い難いです。前述した音楽だけでなく、例えば特講が終わってから30~60分は毎日教室で遊んでしまっていたり、体育(5,6限)の後に特講が入っていないのをいいことに教室で1時間ほど休んだり、帰りの電車の中では毎日スマホで漫画を読んだりしました(食戟のソーマ、ヒカルの碁、ワールドトリガーにはまりました)。ただ、これらがあったからこそメリハリが生まれて授業や勉強に集中できていたのかもしれないし、心に余裕が生まれていたのかもしれません。つまり何が言いたいかというと、「楽しく勉強をする」ことを忘れてはいけないということです。そもそも勉強なんて贅沢で楽しいものだし、ただ純粋に勉強だけができるのは受験生の1年間だけです。裏を返せば、楽しくない勉強はやらなくていいとすら思っています。だから私は、この一年間、ひいては今までの勉強の中で嫌なことや後悔したこととは1つもありません。これを読んでいる皆さんのが楽しい受験生活を送ってくれることを願っています。

## 7.受験生活で活用したもの

### ( i )Studyplus



勉強時間記録アプリです。自分の教材/教科別勉強時間を記録できます(今もこのアプリを見ながらこれを書いています)。友達の記録も見ることができますので、私はよく「うわ、あいつ今日14時間も勉強してるよ…」とひとり絶望していました。

アプリをインストールした状態で上のQRコードを読み取ると、私がいつ、どんな勉強をどのくらいやっていたのかや、模試の成績とその推移が分かります。ぜひ参考にしてください。

### ( ii )東進 東大特進コース

最初にも断りましたが、私は東進の回し者ではありません。しかし、この東大特進はぜひ最大限活用すべきです。私が当時このことをインターネットで調べてみてもあまり詳しい情報が出てこなかったので、このコースのメリットとデメリットを書いていこうと思います。

#### ■メリット

- ・ほぼ無料

はっきり言います。東進の合格実績のほとんどがこの「東大特進コース」によるものです。そして、このコースに在籍している生徒のほとんどが特待生、つまり、東進が合格実績のために無料で授業を受けさせている生徒なのです。

## 特待生基準

夏まで→

①東進開催 「センター試験本番レベル模試」(2017年4月以降実施)の模試成績表提出 「全国統一高校生テスト」(2017年10月29日実施) 「センター試験同日体験受験」(2018年1月13日-14日開催)による認定 *英語はリスニングを除いた200点満点。 合計1900点満点の素点で判定。換算点での判定は行いません。	
成績結果 (900点満点)	免除内容
765点以上	6講座分の受講料免除
720点~764点	5講座分の受講料免除
675点~719点	4講座分の受講料免除
630点~674点	3講座分の受講料免除

②東大特進コース指定模試の合格判定による認定 (2017年4月以降実施)の模試成績表提出 *志望校別の判定が明記された成績表をご提出ください。 *東大志望料削額を複数記入の場合、最も上の判定を採用します。	
成績結果	免除内容
東大 A判定	4講座分の受講料免除
東大 B判定	3講座分の受講料免除
東大 C判定	2講座分の受講料免除

\*高校内成績順位による認定も行っております。  
対象模試の成績表をお持ちでない方はお問い合わせください。

秋以降→

③東進開催 「センター試験本番レベル模試」(2018年4月以降実施)の模試成績表提出 「高校生テスト」(2018年4月以降実施)の模試成績表提出 による認定 *英語はリスニングを除いた200点満点。 合計900点満点の素点で判定。換算点での判定は行いません。	
成績結果 (900点満点)	免除内容
810点以上	6講座分の受講料免除
780点~809点	5講座分の受講料免除
750点~779点	4講座分の受講料免除
720点~749点	3講座分の受講料免除

④東大特進コース指定模試の合格判定による認定 (2018年4月以降実施)の模試成績表提出 *志望校別の判定が明記された成績表をご提出ください。 *東大志望料削額を複数記入の場合、最も上の判定を採用します。	
成績結果	免除内容
東大 A判定	4講座分の受講料免除
東大 B判定	3講座分の受講料免除
東大 C判定	2講座分の受講料免除

\*高校内成績順位による認定も行っております。

対象模試の成績表をお持ちでない方はお問い合わせください。

上記のように、特待生基準が非常に緩いです。オススメは夏までに東進の開催するセンター試験本番レベル模試で630点以上を取り、夏の東進本番レベル模試でD判定以上を取ること(これくらいは取れないと東大受験生として危ない)。そして特待生となると受講料(講座によるが20,000円くらい)が無料となり、教材費(講座によるが3,000円くらい)だけを払えば有名講師の授業が受けられます。

さらに、見事東大に合格すると「合格祝勝会」というパーティーに招待され、東大の再現答案を提出していると35,000円、合格体験記を書くと3,000円、成績開示を提出すると3,000円がもらえます(開智のこの体験記はボランティアです)。不合格でも再現答案、成績開示で18,000円がもらえます。入会金として最初に別途10,800円を払わなければいけませんが、それを差し引いてもだいぶお得です。

このような営業方針は教育機関としてはどうかと思いますが、自分にとってメリットがあればどんどん活用するべきだと思います。

- ・授業が素晴らしい

CMでよく見る有名講師の授業はやはり素晴らしいです。しかも、映像ではなく生の授業が受けられます。私は林修先生と苑田尚之先生(サングラス)の授業を受けましたが、本当に学問観が変わりました。一度受ける価値はあると思います。



- ・長期休みごとにある

よく誤解されるのですが、このコースは毎週通うようなものではなく、夏休みに3日間だけ通い、次は秋の休みの日に1日だけ行く、といったような感じです。私は一種のイベント、受験勉強の息抜きとして楽しんでいました。

- ・他の生徒の雰囲気がわかる

周りは全員開成や麻布、桜蔭の東大受験生という環境はなかなか面白いものでした。

## ■デメリット

- ・行くのが面倒

新宿とか渋谷とかでしか授業は開催されません。家で映像授業を受けられるシステムもあるのですが、やはり生の方が面白いですね。

- ・苑田先生の授業はめちゃめちゃ延長されるし、超難しい

最初びっくりしました。普通に3時間とか延長します。しかも大学の物理の範囲まで手を出してます。ただ、物理という学問が何を目指しているのかということがとてもよくわかる授業でした。

いくら東大特進といえども、私は開智の先生が第一で、単に楽しむためにこのコースの授業をとっていました。開智に通っている以上、開智のカリキュラムを最優先にするべきだと思います。ただし、林先生の授業は文理問わず一度は受けてみてください。論理的に読むとはどういうことか、必ずや体感できると思います。

※私は東進の回し者ではありません

#### 8.さいごに

まあ適当に頑張ってください。

応援しています。

質問や相談等がありましたら  
ください。



Twitter @m78hayakenまでDMでご連絡